



地方債(市債)って何かしら？

枚方市の歳入予算に計上されている地方債(市債)とはどのようなものでしょうか。

市が国や銀行等から借りるお金のことです。

地方債(市債)とは、主に市が公共施設の整備などの建設事業を行うために必要な資金を国や金融機関など外部から調達するいわゆる借入金のことを言います。

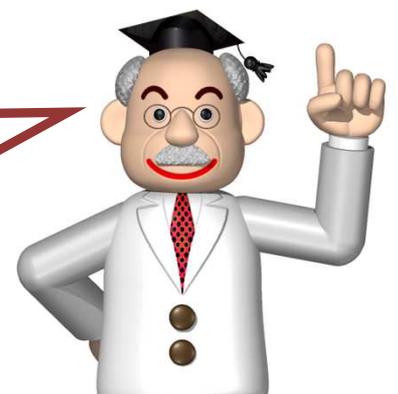
また、建設事業を行うために調達する借入金以外に、臨時財政対策債という市債があります。これは、国から交付されるべき地方交付税の不足分を補うために設けられているもので、どの地域に住む国民に対しても一定の行政サービスを保障するための財源です。



なぜ、地方債(市債)を発行する必要があるのかね？

利子の支払い等、将来の世代への負担となりかねない借入金である地方債(市債)を毎年発行する必要があるのでしょうか。

地方債(市債)の発行には次のような2つの機能があるため、毎年発行を行っています。



機能その1 「毎年の財政負担を平準化します」

ある年度に公共施設の整備が重なった場合には多額の経費が必要になります。もし、この年度に地方債の借入れを行わず、すべてを税等で賄ったとすると、他に必要な市民サービスの提供に支障をきたしてしまうでしょう。市債は、ある年度の過大な財政負担を軽減し他の年度へ財政負担を平準化させることで、計画的に財政運営を行うための機能を有しているのです。



機能その2 「現在の市民と将来の市民の負担を公平にします」

地方債は、現在の納税者と将来の納税者との間の負担の公平を図るという機能も併せ持っています。例えば、図書館などの社会教育施設などを全額その年度の税込で建設したとすれば、完成後に市内に引っ越してきた人は、建設費をまったく負担せずに施設等を利用できることになります。これでは、もともと住んでいて、建設費を負担した市民との間に不公平が生じます。地方債は、返済が長期にわたる結果、新たに市民となった人も償還金という形で建設費を負担することになり、税負担の公平性を確保できるのです。



地方債（市債）を発行しない場合



地方債（市債）を発行する場合



地方債（市債）の返済による負担は、市の財政を悪化させないのかな？子や孫の次世代の負担は大丈夫なのかな？



地方債（市債）の発行を行うと、将来、元金の返済の他に利子の支払いが必要になります。将来の元金と利子の返済は市の財政を悪化させないのでしょうか。

今後、人口の減少等が予想されますが、次世代の負担が大きくなり過ぎないのでしょうか。

将来にわたって計画的に返済していけるように、将来の負担を見据えて慎重に発行しています。

将来にわたって計画的に元金と利子を返済していけるように、地方債（市債）の発行については、過度な将来負担を招くことのないよう慎重に行っていく必要があります。



次世代の負担軽減に向けて、基金（貯金）を使った借入額の抑制を行っています。

平成24年度から、基金（貯金）を活用した地方債（市債）発行額の抑制を行っています。これにより返済額も抑制され、次世代の負担軽減となります。今後も次世代の負担軽減に向けた取り組みを進めていきます。